

第2章 都留市の概況

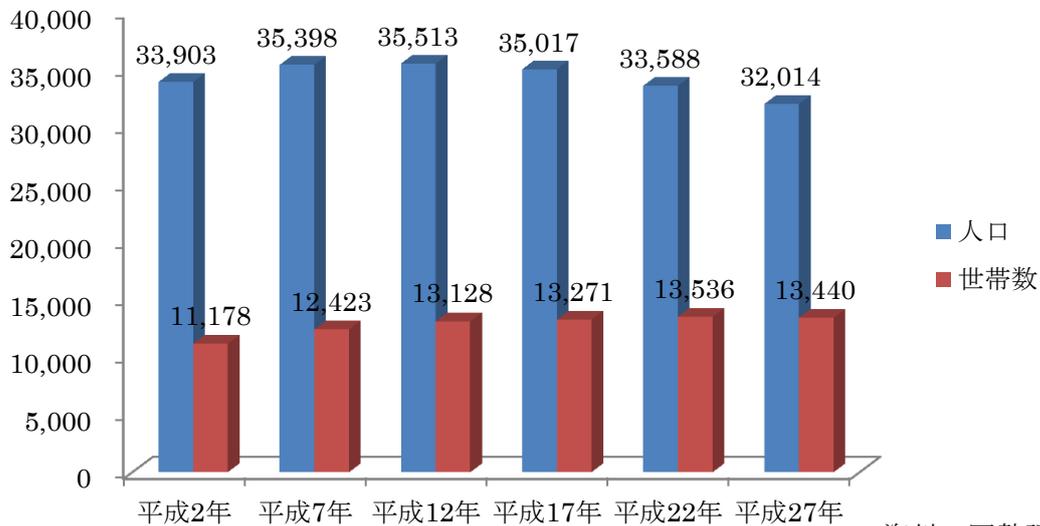
1、人口の推移

総人口は、平成27年国勢調査によると、32,014人で県内13市のうち9番目の人口規模となっています。平成22年、平成27年と人口は減少に転じ、都留市人口ビジョンによる推計人口では、平成32年に30,645人とさらに減少すると予想されます。一方、世帯数は増加傾向にあり核家族化が進んでいます。

3区分別年齢構成比の推移をみると、年少人口(0～14歳)が減少する一方で、老年人口(65歳以上)が増加し、平成25年には24.6%と昭和55年度と比べると約2.5倍と超高齢社会となっています。(図1、図2)

図1

総人口と世帯数の推移

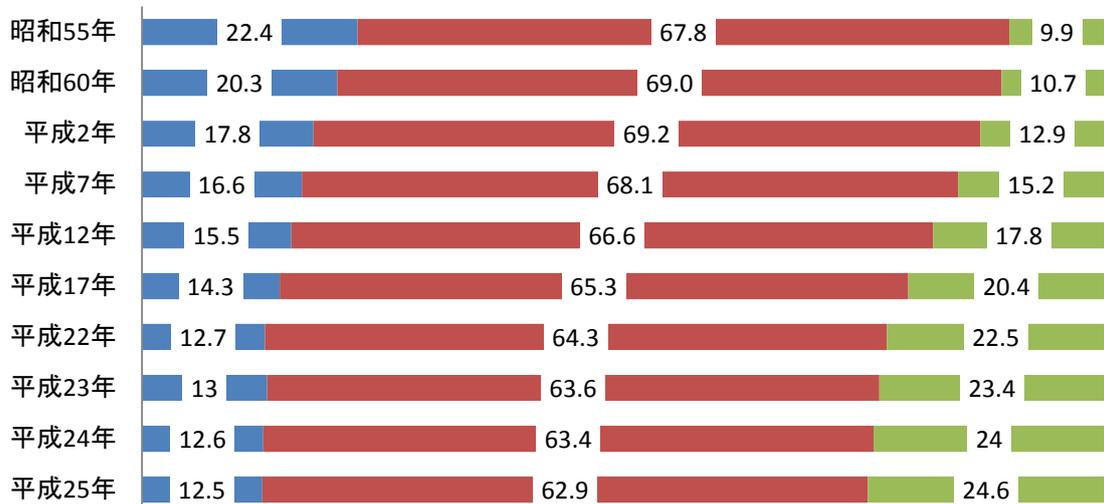


資料：国勢調査

図2

年齢3区分別 人口割合の推移

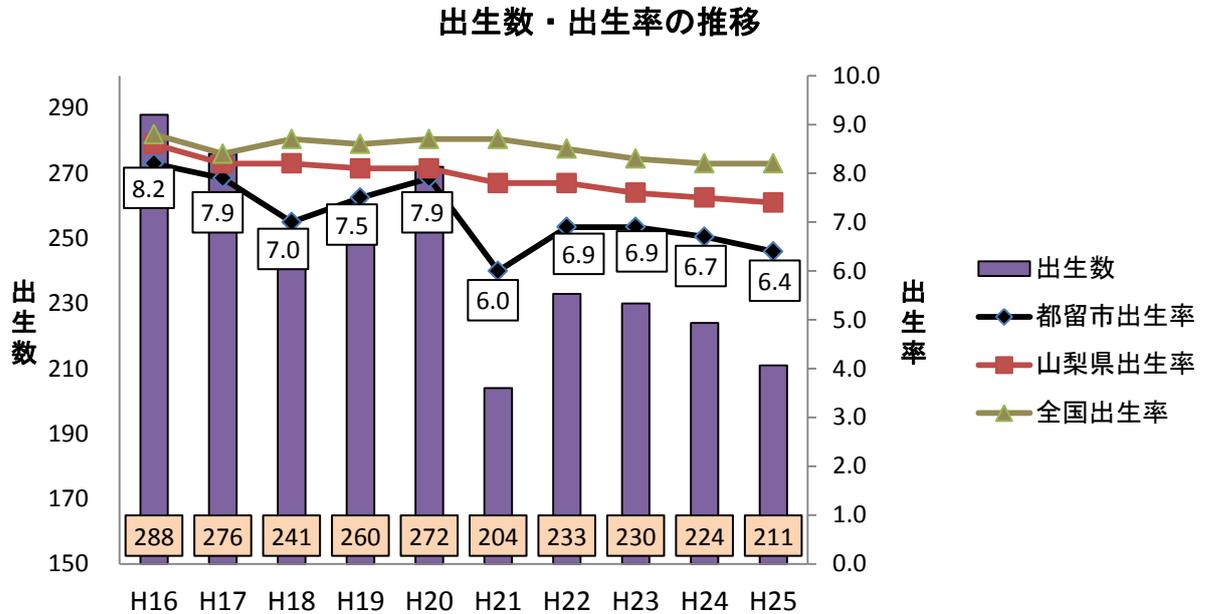
■ 年少人口0～14歳 ■ 生産年齢人口15～64歳 ■ 老年人口65歳以上



資料：昭和55年から平成22年までは国勢調査、平成23年から平成25年は住民基本台帳

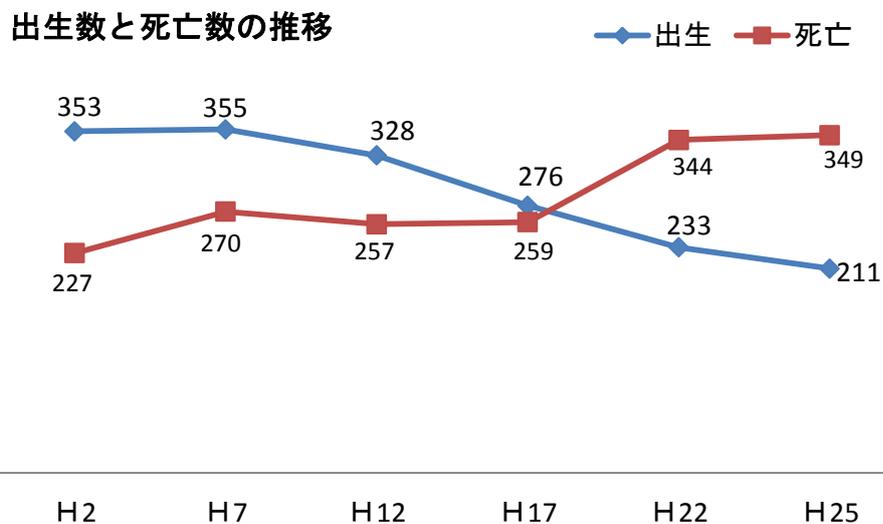
2、出生・死亡状況

都留市の出生の状況を見ると、出生数は平成 16 年から約 70 人減少しており、特に平成 21 年の出生数の減少が大きいです。また、平成 22 年から減少傾向になっています。都留市の出生率は全国、山梨県と比較しても低い状況となっています。（出生率：年間出生数／人口×1,000）



資料：山梨県人口動態統計・衛生統計

出生数と死亡数の推移を見ると、出生数は減少傾向となっており、平成 25 年には出生数は 211 人となっています。一方、死亡数は増減を繰り返しながらも増加傾向で、特に平成 22 年の増加が大きく、平成 17 年から 85 人増加し、死亡数が出生数を上回りました。



資料：山梨県人口動態統計

都留市の主要死因の順位は1位「悪性新生物」、2位「心疾患」、3位「老衰」となっており、1位、2位と順位は全国・県と同様になっています。

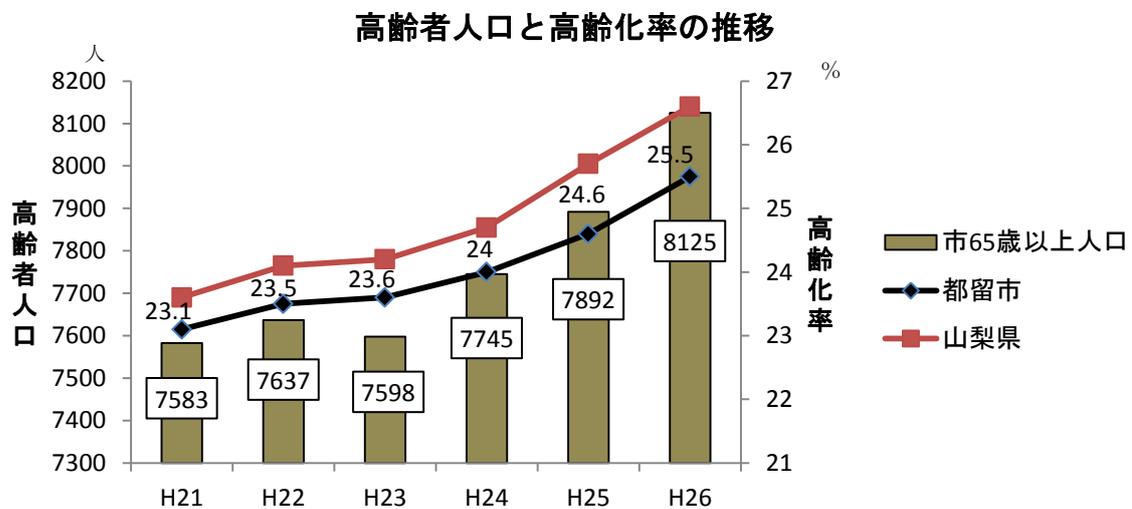
表1 主要死因(全国・県・都留市 平成 25 年度)

順位	全 国		山 梨 県		都 留 市	
	死因名	死亡総数に対する割合 (%)	死因名	死亡総数に対する割合 (%)	死因名	死亡総数に対する割合 (%)
1位	悪性新生物 (がん)	28.8	悪性新生物 (がん)	26.4	悪性新生物 (がん)	22.6
2位	心 疾 患	15.5	心 疾 患	13.5	心 疾 患	12.3
3位	肺 炎	9.7	脳血管疾患	10.5	老 衰	10.6
4位	脳血管疾患	9.3	肺 炎	8.6	脳血管疾患	9.7
5位	老 衰	5.5	老 衰	8.1	肺 炎	7.7

資料：人口動態統計・衛生統計

3、高齢者の状況

高齢者人口は、年々増加しており、高齢化率は山梨県より低いものの上昇傾向にあります。第6期都留市介護保険事業計画によると、平成29年度には、総人口が31,085人、内65歳以上の高齢者は8,467人で、高齢化率は27.2%まで上昇することが見込まれています。



資料：山梨県高齢者福祉基礎調査

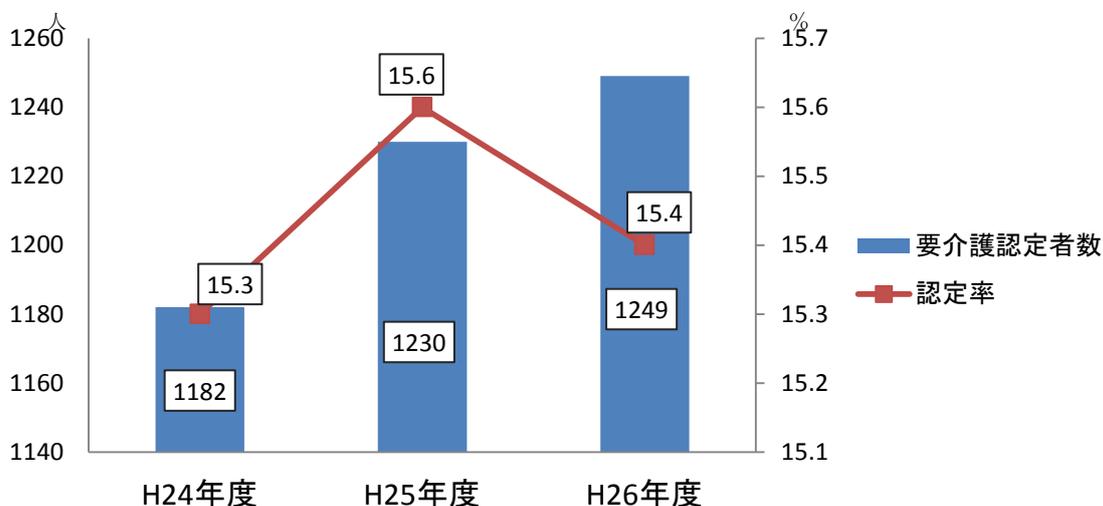
高齢者における疾病状況

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
後期高齢者	高血圧症	関節症・ 脊椎障害等	がん	眼科の疾患	糖尿病
一般 (74歳以下)	高血圧症	関節症・ 脊椎障害等	眼科の疾患	がん	精神疾患等

資料：国民健康保険疾病分類統計表

要介護認定の状況は、認定者は年々増加しており、認定率は平成37年度には17.6%まで上昇すると見込まれています。

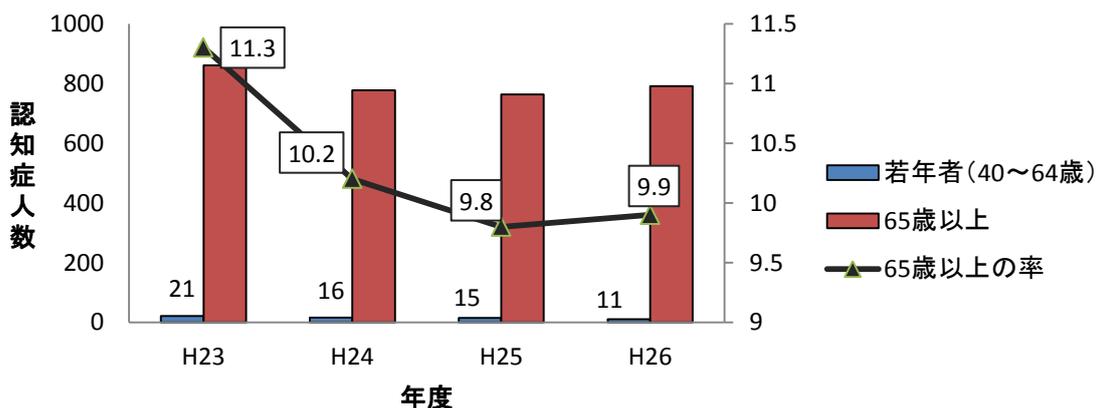
要介護（要支援）認定者の推移



資料：第6期都留市高齢者保健福祉計画

認知症高齢者の数は、平成26年度は791人で、65歳以上の人口の9.9%を占めており、山梨県平均10.6%より低くなっていますが、高齢者の約1割の人が認知症といえます。また、少数ではありますが、40歳～64歳までの若年認知症もあり、認知症予防の強化を図る必要があると思われます。

認知症の割合の推移



資料：山梨県高齢者福祉基礎調査資料編

4、医療の状況

医療の状況として、国保加入率及び受診率を見ると、国保加入率は年々減少しており、県平均と比較すると低い状況です。

保険者名	人口	被保険者数	加入率	受診件数	受診率
H16 都留市	35,049	14,311	40.8	9,968	69.7
H21 都留市	33,920	10,400	30.7	6,712	64.5
H26 都留市	32,932	8,844	26.9	5,968	67.5
H26 山梨県	841,295	245,687	29.2	198,285	80.7

資料：国民健康保険疾病分類統計表平成26年5月診療分医療費【入院、入院外の計】

国民健康保険加入者の受診状況の件数では、1位「高血圧性疾患」、2位「歯肉炎及び歯周疾患」、3位「う蝕（むし歯）」であります。また1件当たりの医療費では、1位「統合失調症等及び妄想性障害」、2位「糖尿病」、3位「その他の損傷及びその他の外因の影響」であります。

順位	傷病名	件数	医療費（円）	1件当たりの医療費（円）
1	高血圧性疾患	768	8,674,940	11,295
2	歯肉炎及び歯周疾患	516	5,926,630	11,486
3	う蝕（むし歯のこと）	419	7,665,650	18,295
4	糖尿病	255	6,422,260	25,185
5	屈折及び調節の障害	250	1,562,350	6,249
6	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	199	2,187,740	10,994
7	その他の急性上気道感染症	148	1,352,770	9,140
8	統合失調症等及び妄想性障害	146	14,030,460	96,099
9	皮膚炎及び湿疹	145	795,120	5,484
10	その他の損傷及びその他の外因の影響	133	2,920,200	21,956

資料：国民健康保険疾病分類統計表平成26年5月診療分医療費【入院、入院外の計】

後期高齢者医療の受診状況の件数では、1位「高血圧性疾患」、2位「歯肉炎及び歯周疾患」、3位「関節症」にとなっています。また1件当たりの医療費では、1位「その他の悪性新生物」、2位「虚血性心疾患」、3位「糖尿病」となっています。

順位	傷病名	件数	医療費（円）	1件当たりの医療費（円）
1	高血圧性疾患	1,017	20,101,530	19,766
2	歯肉炎及び歯周疾患	235	3,150,410	13,406
3	関節症	234	4,236,150	18,103
4	糖尿病	226	5,984,210	26,479
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	220	5,479,220	24,906
6	その他の悪性新生物	159	11,089,860	69,748
7	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	156	3,073,240	19,700
8	う蝕（むし歯のこと）	152	3,334,680	21,939
9	屈折及び調節の障害	141	1,157,820	8,211
10	虚血性心疾患	123	8,128,630	66,086

資料：後期高齢者医療疾病分類統計表平成26年5月診療分医療費【入院、入院外の計】